

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり江刺岩谷堂児童課 放課後等ディサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価作成日	令和8年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、利用者の支援に関わる職員全体が共通認識の下で、利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析した検討を行っている。	利用者の特性に配慮し状況に応じて支援をしている。朝会時に振り返りや支援の検証や改善につなげている。また、アセスメントを適切に行い個別支援計画を作成している。	利用日の形態（平日・休日・長期休暇）に応じた課題の設定や、職員会議などによる定期的なモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
2	支援以外の日々の業務改善を進めるPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、すべての職員が共有し改善を推進している。	業務の中で気付いた点や改善・工夫など、情報を共有する職場環境を目指し励行している。支援やサービスには明確な基準がないが、常に広い視野で“目配り・気配り・心配り”に配慮している。一方で、支援内容も固定化することなく常に試行錯誤を繰り返し、失敗を成功に繋げるよう心がけている。	業務中に気付いた点や改善点などについて、朝のミーティングや職員会議時に意見を集約し、プランを具現化し実行に向けている。
3	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援を行っている。また、活動が固定化しないよう工夫をしている。	個々の特性に配慮した環境作りやスケジュール・個別の課題を提供している。一方で、“社会適応訓練”“日常生活訓練”等利用者の自立に向けた目的に偏りがないようにしている。	利用時の行動や活動・課題を織り込んだスケジュールを提示している。活動には個別支援計画や創作・運動・季節行事など盛り込み、実施結果を記録して支援の継続を図っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員や利用者の状態に応じた職員数を、常に適正な体制となるよう配置している。一方で朝送迎時の利用者が多く、朝に職員数を多く配置する事や、送迎対象の学校数が多いため受け入れ職員数にやや不足が生じる時間帯がある。	職員配置基準は遵守しており、利用者全体の受け入れや支援体制に支障をきたすことがないよう職員の勤務体制の構築を図っている。現状では、朝送迎や学校数などは保護者の要望に答える結果として、今後も工夫しながら受け入れを図っていく。	なるべく複数の学校を送迎対象として、職員を有効に配置するよう工夫をしている。また、送迎員の配置により送迎時の職員負担が軽減されている。
2	自立支援協議会子ども部会への参加や、児童発達支援センター等の関係機関と連携を図る事。放課後児童クラブや児童館との交流や、地域との交流を深める取組は、コロナ禍以降については感染症予防の観点から希薄になっている。	多角的な情報共有による支援を図るには、関係機関等との連携は重要となっている。また地域との共生やこどもたちの療育から、児童施設や老人施設等の訪問などによる交流は有用で、早期な対策を講じて行きたい。	感染予防に努めながら老人介護施設への訪問等段階的な地域交流を検討実施していく。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っており、運営上の事業安全計画を策定しているが、業務継続計画（BCP）が災害・感染症等の発生時に事業継続をするためにより具体的な計画見直しを定期的に行わなければならない。	災害時への対応訓練と共に、自然災害や感染症発生時の事業への影響をいかに軽減し、継続出来るかが重要となってくる。また、利用者と職員の安全確保などを盛り込んだBCP策定を推進する。	気候変動に伴う自然災害や季節に関わりない感染症拡大など、日常生活を脅かす事態が身近に懸念され、地域特性を考慮した計画を策定する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
ひだまり江利岩谷堂 放課後等ディサービス		令和8年3月31日				24名	21名	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	1	1	・見渡せるのでとても良いと思います。 ・室内をカラーBoxやテーブル等でスペース分けし、利用者が1ヶ所に集中しないよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	6		1	・全ての事業所の利用者に対する職員の数や適切かは分からないが、負担がないよう職員へ聞き取りなどをして職員のサポートをして頂ければと思います。 ・人材確保は難しいかもしれませんが、もう少し増やしても良いのではないのでしょうか？ ・トラブルも少なく、その日の様子を細かい所まで教えて頂けるので、目が行き届いていると思います。	・定員超過となる際には、人員不足となる可能性があるが、人員配置基準は満たしている。 ・トラブルが発生しないよう職員がその場を離れる際には、他職員へ声を掛け、支援が途切れないよう心掛けている。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		4	・子どもに合わせた空間を工夫して作ってくれていると感じます。レイアウトの変更があった際も丁寧に説明してもらるので安心します。	・空間のレイアウト変更をした際には、お便り等を通し、紹介させて頂くよう心掛けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	3		2		
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			・好きな事苦手な事を共有して支援して頂いていると思います。	・保護者と都度情報の共有をしていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19		1	1		・支援プログラムについて更なる周知を行っていく。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1				
	9	放課後等ディサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	6	7	・買い物体験や公園へ遊びに行くなど周囲の社会へ出る機会があると良い（長期休みなどの長時間利用日などに）。	・今後交流の機会を検討していく。 ・外出等の体験については、今後計画を検討していく。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				・分かりやすく説明して頂きました。		
13	「放課後等ディサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	4	2	・情報がたくさん欲しい。 ・まだ参加した事がないです。	・研修の機会がある際には情報提供していく。	
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	1			・お忙しい中でもその日の様子を教えて頂き嬉しく思っています。 ・体調不良時の対応等、とても適切で親身に相談の乗って頂けるので安心して通所させられます。	・普段の様子については今後も連絡帳や迎え時に伝えていく。 ・体調の変化に留意し、小さな変化にも気付けるよう心掛けていく。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				<ul style="list-style-type: none"> ・どんな些細な事でも快く相談に乗って頂けるので、話しやすくいつも助かっています。 ・面談はいつもとても丁寧で、不安な事を聞きやすい雰囲気です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて面談の機会を設けていく。 ・普段より話しやすい雰囲気を構築していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	7	6	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ひだまり保護者会が解散してしまい、保護者同士の交流の場がなくなり残念でした。 ・保護者会も夕方からあったり仕事の日だったりするので、いまだ参加した事がないです。 ・兄弟児の交流もあってもっと良いなと思います。岩手県では兄弟児の交流をする場が大人向けにはあるようですが、他県と比べるとそのような機会が少ない傾向にあると聞きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が解散したことで、交流の機会が減ってしまったことは残念。事業所主体で交流の場を検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	3		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を実施して頂き、その様子も伝えてもらっています。 ・日頃訓練をしていただいているお陰で、地震の時の反応が早かったです。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を実施して頂き、その様子も伝えてもらっています。 ・まだ1ヶ月と少ししか利用していない為、分からないにさせてもらいました。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2			<ul style="list-style-type: none"> ・通所開始当初からお勤めされている職員の方もいるので、子供はとても心強いようです。 ・連絡帳を見ていると、おおむねリラックスして過ごせているなと感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安心感を持っていただけるよう努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの落ち着かない時もありますが、切り替えられるよう対応していただいています。 ・仲良しの子が1人出来たと喜んでいました。 ・毎日の活動が様々で、楽しんで通わせて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所が楽しみに感じて頂けるような活動計画等を検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり江刺岩谷堂 放課後等デイサービス		公表日		令和 8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレイルーム・学習スペース・活動スペースを配置し、個別支援が出来る場所も併設している。 ・室内をカラーボックスやテーブルでスペース分けし、利用者が一か所に集中しないよう工夫している。 ・死角がなくなるよう、家具の配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアで支援を行っている為、学年や発達に応じたスペース、個別のスペース分けが難しい。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性や男女・年齢に応じて活動を検討し、適宜配置している。 ・規定を満たした職員数である。 ・利用人数を確認しながらシフト調整をしている。職員が体調不良で休んだ際には、学校送迎等の対応を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が体調不良等で休みが重なった場合、事業所間の応援や法人本部との連携が必要である。 ・定員超過となる際には人員不足となる可能性がある。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的に良好な環境作りを検討し、活用スペースを視覚（イラスト表示）で認知出来るようにしている。 ・場合によってはパーテーションを使用し、視覚情報を軽減するようにしている。 ・トイレはバリアフリーになっている。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に留意し、絵カード等も使い分けやすい支援を工夫している。 ・毎日の清掃、消毒に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃と消毒はもとより、整理整頓も都度行いながら、過ごしやすい空間を意識している。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・横になって休めるスペースの確保。課題等に集中できる空間を配置している。 ・着替えのスペースを高さのあるパーテーションで仕切り、静かに過ごしたい場合にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に落ち着けるスペースはあるが、音を遮断することは難しい。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定し、実行。また、その評価をし、改善を実施している。 ・業務の中で気付いた点や改善点等について、朝会や職員会議等で話し合い、改善後の変化等についても確認出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日休みだった職員も分かるよう、話し合った内容を職員連絡帳（日誌）に記入し、確認できるようにしていく。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表の意向を反映。日々保護者とのコミュニケーションにより要望を受け入れて改善を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者の意向を把握し、業務改善に努めていく。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・常に提供サービスや支援方法について、振り返りや協議を重ね、意見の反映に取り組んでいる。 ・意見を出しやすい環境であり、常に情報交換が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝会や職員会議、必要に応じたミーティングを行っていく。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討課題となっている。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識習得の為、積極的に外部研修への参加や内部研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で学んだことを、職員間で共有し、日々の支援に取り入れていく。 ・今後も積極的に研修に参加し、学んだことを活かせるよう心掛けていく。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な支援プログラムの検討、作成を実施し、ホームページで公表している。 ・事業所内に掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に掲示するだけでなく、職員全員が内容を把握できるようにしていく。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に配慮して、保護者と情報を共有、アセスメントを実施し、個別支援計画に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者のニーズや利用者の課題に向き合い、適切な支援方法で、個別支援計画を作成していく。 	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・支援する職員の多角的な視点から幅広い意見を取り寄せ、徐々にステップアップできる支援策を考慮している。	・児童発達支援管理責任者の主観だけでなく、職員全員で5領域を念頭に作成していく。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・分かりやすく無理のない教材等を作成し、段階的に取り組んでいる。 ・支援の方向性について職員間で話し合い、共通理解の基支援を行っている。 ・周知しやすいよう一覧表を作成している。	・計画に沿った支援が行われたか、職員間で確認の場を設け、振り返りを行っている。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・法人共有のアセスメントシートを活用し、保護者に聞き取りを行っている。 ・日々の利用者の状態や変化等を観察し、何が必要なのか職員間で話し合いを行っている。	・利用者の課題の整理や、支援の優先順位等、話し合えるようなアセスメントシートの作成も視野に入れていく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・5領域の視点で支援に当たり、家族との信頼関係を構築、地域・社会への将来的な移行を視野に入れ、関係機関との連携を深めながら支援を検討している。 ・本人支援はもとより、家族の相談に適切なアドバイスを行っている。また、進学や進級する際に於いて学校等と情報共有を行い、場合により支援会議の場を設けている。	・地域支援・地域連携については、感染症対策も行いながら、今後取り組んでいく。 ・今後もガイドラインの項目を理解し、適切な支援目標を設定していく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・複数人でプログラムを立案している。 ・職員会議で内容を協議するなどし、チームでの立案をしている。	・プログラムの目的を明確にし、利用者の発達に合わせた支援を行っている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・個性や特性に配慮し、マンネリ化しないよう工夫している。 ・「静と動」の活動、また、「社会適応訓練」「日常生活訓練」等、目的別に偏りが無いよう工夫している。	・利用者の発達や特性に合わせ、本人の自信に繋がるよう工夫していく。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個々にスケジュール表を活用したり、個別に課題を提示し取り組んでいる。 ・利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	・集団活動が難しい場合は、事前に見通しが持てるようスケジュールを提示していく。それでも難しい時には、個別対応をしていく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝会に於いて、支援前に前日の利用者状況、送迎、活動等の役割分担などを確認している。	・見守りや把握が途切れないよう、声を掛け合って支援にあたる。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・時差勤務の為、終礼は行っていないが、その日の出来事や特記事項等を日誌等に記入し確認している。	・朝会で前日の振り返りを行い、利用者状況を確認する。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・個別支援目標に向けた活動や日々の支援について記録を残し、振り返りや改善をしている。 ・連絡帳が複写になっており、事業所で支援内容を確認することが出来る。また、次の日の朝会にて支援の検証や改善策を話し合っている。 ・前日の様子を日誌に記録し、翌日の朝会で検証や改善策を話し合っている。 ・全体の記録の他に個別の記録も取り、検証や改善に繋げている。	・活動の際の内容と支援方法だけでなく、個別支援目標に沿った支援内容についても詳しく記入するようにしていく。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・概ね6ヶ月に1回、支援の効果を検証している。 ・モニタリングの内容については、保護者へ報告、確認を行っている。	・概ね6ヶ月に1度、モニタリングを行っているが、利用者の成長や状況に合わせて行うことも視野に入れていく。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・ガイドラインに於ける基本を複合的に盛り込み支援を行っている。	・自己選択や自己決定を促すとともに、利用者同士の関わりの中で利用者が主体性を発揮しながら参加できるよう、支援していく。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のアイテムから選択して、自己決定できるよう取り組んでいる。 ・豊富な教材や遊具が用意されている。 	・選択肢を提示し、自ら選択できるよう声掛け等の支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	・利用者個々の特性を理解している担当者を含めた支援会議等を開催している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	・医療機関への情報提供や、障がい福祉の関係機関との情報共有など幅広い連携体制を構築している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	・学校の年間行事及び日々の下校時間などの把握や、学校からの連絡事項を密に連携している。	・下校時の引き渡しに関して、利用者の情緒や健康状態等、学校と情報共有を深めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	・利用開始前に事業所見学や園の職員との情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	・就労支援事業所等へ移行時に移行支援会議棟を行い、情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	・子育て支援センターなどへ見学に行き、就学前の利用者情報を確認したり、アドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	・現在、交流等は行っていない。	・今後、多方面との交流や情報共有の場を検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	・主催する研修会や情報交換会へ参加している。	・今後も積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体調面や活動、課題への取り組み等、その日の出来事を伝えている。 ・家族の様子や状況を常に把握できるようにしている。 	・状況を伝え合いやすい関係性の構築に努める。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの問題行動を改善し、親子関係の強化を図る為の実践的な手法を提供している。 ・ペアレント・トレーニング研修の案内を行った。 	・今後も機会があれば研修の案内等を行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	・契約時、当法人の運営規定や目的、具体的な支援方法について説明理解頂く事を心掛けている。	・契約時や問い合わせがあった際、丁寧な説明を行うことを心掛けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	・利用者や保護者の意見を尊重し、事業所が出来る支援方法等について説明し、理解して頂く事を常に心掛けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	・サービスの目的や内容及び手法について具体的な提案をして同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	・家族から相談を受けた際は、必要に応じて個別に対応している。	・相談内容によっては、別途時間を調整し、面談を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	・今年度より父母会が解散となっている。	・今後は事業所が主体となり保護者同士の交流の場を考えていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や要望について内容を真摯に受け止めている。本部への報告はもとより、その対応や回答を速やかに取り組んでいる。 ・マニュアルが完備されており、マニュアルに沿った手順で進めている。 	・苦情があった場合には、迅速かつ誠実に内容に向き合い、解決に向けて対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	・「お知らせ版」を月1回発行している。また、ホームページで法人のイベント等を周知している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理は徹底して行っている。 ・お便りやホームページ等への写真や名前の掲載については、保護者からの承諾がない利用者に対しては掲載しないよう十分に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や名前の掲載については都度確認をしていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で共生できるよう、インクルーシブな支援に動いている。 ・絵カードや文字、スケジュール表等を使用し、視覚的な支援を行うなど、特性に応じた配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや文字等を使用し、分かりやすい支援を心掛けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度地域の老人福祉事業所への訪問活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に努めながら、地域の方々との交流を計画していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内でマニュアルを策定し、計画的、継続的に訓練を実施している。 ・年4回の避難訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等でマニュアルの読み合わせ等を実施し、内容の確認を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に伴う自然災害や感染症拡大による事業への影響を考慮し、BCP策定と訓練を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等の緊急事態に対する業務継続計画（BCP）は現在作成中である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は医療との関わりが高く、服薬・病状等について保護者に確認している。 ・医療機関受診後に受診結果、服薬変更等の情報を保護者から頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で服薬等の情報共有を行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的判断が必要な利用者はおらず、今後必要があれば対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に保護者に確認を取る。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を職員に周知し、定期的に研修や訓練を実施している。 ・委員会で作成したマニュアルに基づいて安全管理を行っている。 ・定期的にAED講習会を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に事業所内外の安全点検を実施していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡先を確認し、連絡が取れるようにして頂いている。また、緊急搬送先の確認もしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先を表にまとめ、電話の側、送迎車内、非常持ち出し用バッグに準備しており、変更があった場合すぐに更新していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはっとの要因を特定し対策を講じる貴重な機会と捉え、積極的に検討している。 ・ひやりはっとが起きた段階で職員間で情報共有し、対策を講じている。職員会議で改めて要因、対策を話し合い、振り返りも行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような内容のひやりはっとが起きないように、要因の特定、対策を職員間で共有していく。 ・対策が適切であったか、振り返りも行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・人権確保チェックリストの活用や、委員会に於いて防止策を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に積極的に参加し、虐待防止に努める。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳と主体性を尊重する為、保護者に同意を頂く。 ・職員間で慎重に協議し、必要に応じて保護者へ説明、同意して頂く。 ・現在、身体拘束の同意を頂いている利用者はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同意を頂いた場合は、身体拘束の記録を適切に取り、要因の特定、支援策の検討、改善策を講じ、身体拘束解除へ向けて取り組む。 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり江刺第二桜木 放課後等ディサービス		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内を区切り、それぞれの場所で行うのかを分かりやすく示しています。 ・写真や絵カード、スケジュール表、ルールブック等を活用し、可視化して誰が見ても理解しやすい環境づくりを行っています。 ・タイマー等の活用し、活動や余暇の見通しを持てるよう支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを基に、状況に応じた環境調整を行い、改善が必要な部分については随時改善策を検討していきます。
2	将来に向けた社会的スキル獲得のための支援	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや身辺自立等のスキル獲得、就学準備を意識し、集団活動と個別活動を組み合わせた支援を行っています。 ・気持ちの切り替えや、見通しをもって生活すること、対人関係の構築を学ぶための場面設定や振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携の強化し、職員の支援力向上を目的とした研修への参加等を通じて、職員のスキルアップ、支援の質の向上を目指します。
3	支援の統一	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日個別支援の取り組み内容や、その日の支援内容について具体的な確認を行っています。 ・職員間で同じ支援を行う事が出来るよう、都度確認と振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップを図り、利用者一人ひとりのライフステージに合わせた支援、対応を行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内を見て頂く機会が少なかったこともあり、「わからない」との回答があったと分析しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも事業所内をご覧頂けることを積極的に発信するとともに、おたよりやブログ等でも事業所内の環境等について発信していきたいと考えています。
2	児童クラブや地域の子どもと活動する機会の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブとの交流について、実施時期等取り組みに向けての動き出しがなかなか出来ずにいたため、今回の反省を生かし今後はスムーズに進められるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中の実施に向け、連絡体制や具体的な内容の検討を進めている段階です。
3	保護者同士の交流の場の提供・きょうだいへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の場やきょうだいへの支援の機会が持てていませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月中に保護者、きょうだい参加できるイベントを企画しています。今後、継続して行えるよう検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり江刺第二桜木 放課後等デイサービス

公表日 令和 8年 3月 31日

利用児童数 年月日

回収数 19名中 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	5		1	・十分かは分からないが、職員さんが色々と考えてくれていると思います。	限られたスペースではありますが、事業所内の使い方を検討していきます。また、過ごし方を工夫し十分に活動出来るスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		4	・面談以外で中を見る事があまりないので分からないと回答しました。	職員の配置基準は満たしています。また、その日の利用人数に応じて職員を配置しております。年度初めと異動がある場合に、お便りで職員を紹介しておりますので、ご確認頂ければと思います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			4	・面談以外で中を見る事があまりないので分からないと回答しました。	大きく環境は変わっておりませんが、いつでも事業所内をご覧いただけますので、お申し出ください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			3	・整理整頓がしっかりとされている環境でとても良い空間だと思います。 ・面談以外で中を見る事があまりないので分からないと回答しました。	事業所内は毎日清掃を行っています。また、事業所内と使用した物品の消毒を行っています。
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18			1	・利用の際には、その都度本人に応じた支援をしっかりとさせていただいた上で、連絡帳からも支援の様子、本人の様子も知ることが出来、とても良いと感じます。 ・2年間の成長を見ていて、うちの子に合っていると感じています。	事業所内でアセスメントを行い、個々の特性に応じて対応しています。また、医師からの意見書や心理検査等の結果を確認しながら支援を行っています。定期的に研修会等に参加し、専門的な支援を行えるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1		ご不明な点は、ご説明させていただきますのでお声がけ下さい。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19				・本人の将来を見据えた上での支援計画や保護者の考えも考慮していただいた上での支援計画が作成されていて良いなと感じます。その結果が本人の成長、成果に繋がっていると感じます。	個別支援計画を作成する際は、相談支援事業所で作成する計画をもとに、保護者へ聞き取りを行い作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			1	・しっかりとした繋がりある支援があり、子供に必要な項目が設定された上での支援なようだと感じます。	放課後等デイサービスガイドラインを全職員が確認を行っています。内容を確認した上で支援計画を作成し、支援を行っています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					毎日、朝会で支援計画の内容を確認してから支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19					輪番制で活動を計画し、職員間で話し合いながらプログラムを検討しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	2	8	・難しいと思いますが、出来るようになると思います。	実施出来ておりませんが、現在計画を立てている所です。実施の際には、お知らせいたします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					契約時、ご利用時等に説明を行っております。ご不明な点がありましたら再度ご説明させていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					モニタリングを行い、支援内容をご説明させて頂いております。ご署名頂いた後は、必ず控えをお渡ししています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19					今年度、事業所でペアレントトレーニングを開催いたしました。今後も継続していく予定ですので、ご参加頂ければと思います。また、研修会等がありましたら随時お知らせいたします。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18	1		・言いづらいこともしっかりと適した表現で伝えて頂いていると思います。 ・連絡帳や電話等で本人の状況をその都度伝える事も出来、成長していく過程での理解も充分していただけていると感じています。	日々の申し送りや面談時に共通理解出来るよう、細かい情報もお伝えするよう努めております。引き続き、情報を共有しながら支援を行ってまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1	1		保護者面談の期間を設けています。また、家庭訪問等も行ってまいります。ご要望があった時や、ご相談を受けた際には支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				・共感的支援があるからこそ、子供本人が素直に受け入れる事も出来、それが糧となり、日々の成長へと繋がっていると感じています。	利用者・保護者の方の声に耳を傾け一緒に考えながら支援を行っています。今後も継続していきたいと考えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	13	2	2	2	・2月のお菓子作りをととても楽しみにしているようです。	2月に保護者、ご本人様、きょうだいの方々に参加できる交流会を開催予定です。次年度のご参加をお待ちしております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			2		ご相談等ございましたら、迅速に対応させていただきますのでお声掛けください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			1	・子供本人は職員の皆様とのやり取りや支援の中で、そして保護者としては連絡帳やLINEでの情報伝達がかかりとあり、配慮されていて良いと感じます。	書面で準備をする等の工夫を行っています。内容により、電話や口頭での説明ではなく、家庭へ訪問したり面談の場を設けたりしています。今年度、LINEを導入し活用しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			1	・毎月の通信では、細かい情報や必要事項等も分かり、尚且つ子供たちの様子なども分かりやすく発信されていて良いなと思います。	毎月、お便りの配布とホームページのブログを更新を行ってまいりますのでご覧ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1				個人情報取り扱いマニュアルを確認し、対応しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19					契約時に各マニュアルについて説明を行い、事業所玄関にいつでもご覧いただけるようになっています。訓練を行った際には、おたよりでお知らせしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	・子どもからも内容を聞いており、実際に備えた内容だと思っています。	非常災害に備え、年に4回訓練を行っています。訓練の様子は、おたよりでお知らせしていますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			1		緊急時の避難場所をおたより等でお知らせし、水害等危険が予測される時には、早めに注意喚起を行っています。また、緊急連絡先を確認し受け入れを行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1		事故や怪我が発生した際には、早急に連絡を入れ、ご説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				・利用頻度は少ないですが、利用の際には、職員の皆様に心を委ね安心して通所していると思います。 ・年齢的なものもあり、家で過ごそうとする日も多かったのですが、最近また「行く！」と通所しています。	安心してご利用頂けるよう、環境を整えていきます。不安なことがありましたらご相談頂ければと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	6		1	・事前に利用日をしっかりと自分で確認をして利用できる日には職員の方や利用している子達との通所時間を楽しみにしているようです。 ・年齢的なものもあり、家で過ごそうとする日も多かったのですが、最近また「行く！」と通所しています。 ・楽しく通っています。いつもありがとうございます。	「楽しい」と思ってもらえるような活動を準備していきます。また、利用者の方の声に耳を傾け、意見を取り入れながら居心地の良い場所を提供できるように努めて参ります。

	<p>29 事業所の支援に満足していますか。</p>	<p>19</p>		<p>・本人にとってたくさんの事を学ぶ事も多く、学んだことが本人の大きなせいちょうの糧となり、親の私自身も職員の皆様のお力添えもあってこそ、本人の頼もしい大きな成長ぶりが見られ、皆様の支援には満足で感謝の思い一杯です。</p> <p>・年齢的なものもあり、家で過ごそうとする日も多かったのですが、最近また「行く！」と通所しています。</p>	<p>ご利用されている方々が必要な支援を提供できるよう職員一同努めて参ります。また、保護者の方々と一緒に子どもたちの将来に向け、今後も支援を行っていきたいと思っております。</p>
--	----------------------------	-----------	--	--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり江刺第二桜木 放課後等デイサービス		公表日		令和 8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6		事業所内はワンフロアですが、活動、課題、余暇、食事等の内容によってスペースを分ける、グループを分けて構造化をしています。パーテーション等を使用して、用途ごとに使い分け、何をやる場所が分かりやすく区切っています。	限られたスペースではありますが、事業所内の使い方を検討していきます。また、過ごし方を工夫し十分に活動出来るスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		規定、基準を満たす職員配置を行っています。利用申し込み人数に応じて職員体制を組んでいます。また、定員が超過しないように調整を行っています。	職員の配置基準は満たしています。また、その日の利用人数に応じて職員を配置しております。年度初めと異動がある場合に、お便りで職員を紹介しておりますので、ご確認頂ければと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		活動、課題、余暇、食事等を行う場所など構造化を行っています。室内は大きな段差がなくワンフロアになっており、車椅子の方が使用できるトイレ(スライドドア)や、通路の確保を行っています。	面談以外で中を見ることがあまりないので分からないという回答を頂いています。大きく環境は変わっておりませんが、いつでも事業所内をご覧いただけますので、お申し出ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃と消毒(1時間おき)を行っています。換気や毎日使用した物品、車内の消毒を行い、チェック表を活用して担当を決めて行っています。子ども達の活動、動線に合わせて環境設定、構造化を行っています。	事業所内は毎日清掃を行っています。また、事業所内と使用した物品の消毒を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		障がい特性に合わせた場所の提供を行っています。パーテーションで区切られた個室を状況に応じて使用することが出来るようにしています。必要に応じて(面談、着替え、クールダウン、カームダウン等)個室を使用する事や、一人で座るスペース等を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の朝礼や毎月の職員会議、モニタリング会議等で目標や取り組み内容の確認、振り返りを行っています。日頃から支援の振り返りを行い業務改善に向け話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年評価表を記入して頂き、全職員に周知し結果を分析し所内で業務改善に向け取り組んでいます。内容は事業所のお便り等で発信しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議で報告、検討する場を設けています。毎日の朝礼でも報告の場があり、早急に課題を改善できるよう情報共有し、話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		外部評価は受けていませんが、苦情や事故等の報告会を法人で開催し、弁護士や第三者委員の方々から助言を頂き改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月の内部研修や法人内の研修、外部での研修の場を設けています。受講後は、事業所内で伝達研修を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、公表しています。	ご不明な点は、ご説明させていただきますのでお声がけ下さい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		本人、保護者のニーズを確認しています。また、相談員が作成する利用計画や事業所でのアセスメントをもとに、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画作成時には、職員間でモニタリング会議を行い、日々の目標への取り組み、振り返りを職員間で行い、共通理解を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書とは別に、取り組み内容を一覧表にしています。(可視化) 毎日朝会で取り組み内容の確認、振り返りを行い支援を行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		法人内で統一したアセスメントシートを使用しています。所内で支援ツールを準備、活用しアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを全職員が確認を行っています。内容、保護者や子どものニーズ、5領域など確認した上で支援計画を作成し、支援を行っています。	放課後等デイサービスガイドラインを全職員が確認を行っています。内容を確認した上で支援計画を作成し、支援を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月担当を輪番制とし、職員会議で話し合いながら立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に応じた活動、新たな活動を取り入れる事や、5領域に沿った活動内容を設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性に合わせ、アセスメントを取りながら個別の活動、集団の活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝会で支援内容、担当を確認し、打ち合わせを行ってから支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日の朝会で報告、振り返りを行い情報を共有しています。課題や改善点については、全職員で話し合い、対応しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援に関して、記録をケース記録と日誌へ残しています。都度、記録の振り返りを行い支援へ活かすようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回(年に2回)、モニタリングを実施しています。必要に応じて支援内容の見直しや目標の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを確認しながら、4つの基本動作を組み合わせ支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択や自己決定を目的とした活動を取り入れています。余暇も自分で選択できるような仕組みとしています。		
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		利用者の状況を理解している児童発達支援管理責任者、それに準ずる者が中心に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		関係機関と情報を共有しながら支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校から年間計画や行事予定、下校時間のお手紙を頂いています。また、常に電話での連絡調整を行い情報を共有しています。日々の様子の他にも長期休暇の様子等もお伝えしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		就学前に所属していた園へ訪問し、様子の確認や聞き取り等を行っています。都度、連絡を取り合い情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	6		移行の際には、支援の経過や状況等の情報を文書でまとめ情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		自立支援協議会療育部会等で連携を図っています。同様に情報交換会や研修にも参加しています。必要に応じて支援会議等も開催し、助言を頂いています。	

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		これまでなかなか交流の機会が持てませんでしたが、今年度は近くの児童クラブとの予定を立てています。	実施出来ておりませんでした。現在計画を立てている所です。実施の際には、お知らせいたします。
	33	(自立支援) 協議会等積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会療育部会が主催する情報交換会や研修会等に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳をご利用の都度記入、LINE等を活用しやり取りを行っています。また、お迎えの際の申し送りや保護者面談等を通じて事業所の取り組みや自宅での様子を確認し、支援についての共通理解を深めています。	日々の申し送りや面談時に共通理解出来るよう、細かい情報もお伝えするよう努めております。引き続き、情報を共有しながら支援を行っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアレントトレーニングの研修会に参加した後、チラシを作成し情報提供を行いました。今年度は事業所でペアレントトレーニングを開催しました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。支援プログラムにつきましては、ホームページに掲載しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画を立案する際には、相談員の作るサービス等利用計画と保護者の意向を確認しています。モニタリングの際にも、説明を行い、聞き取りも行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画の説明を行い、同意を頂いた際には計画書に同意の署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		都度、相談に応じています。また、必要に応じて面談の時間を設け情報共有を行い、助言を行っています。	保護者面談の期間を設けています。また、家庭訪問等も行っております。ご要望があった時や、ご相談を受けた際には支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		今年度はペアレントトレーニングを開催しました。また、2月には保護者交流会の開催を予定しています。	2月に保護者、ご本人様、きょうだいの方々が参加できる交流会を開催予定です。次年度のご参加をお待ちしております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		定期的に面談の場を設けています。また、申し出があった場合には、都度日程調整を行い対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、お便りを発行しホームページのブログの更新を行っています。連絡体制につきましても都度、お便り等でお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いマニュアルをもとに、注意しながら対応しています。内部研修等でも職員間で周知し、慎重に取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		利用者、保護者の方が分かりやすいよう適宜対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		行事等への招待はありませんでしたが、地域の方が来所された時には、事業所の説明を行ったり地域の清掃を行ったりしています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアル集を準備し、事業所玄関に設置しています。訓練を実施し、実施した際にはおたよりでお知らせしています。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画と共に策定し、非常災害の発生に備えています。定期的に訓練や講習を受け、実施後は、お便り等でお知らせしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に面談を行い聞き取ったり、診断書や母子手帳等の確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		ご利用前に必ず確認し、対応しています。医師の指示書に基づき、提供方法を工夫し（他者の物と間違えないように）対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		法人で設置している委員会へ参加し、職員間で周知しています。ひやりはつとや事故等が起きた場合には、早急に対策を検討し実施しています。熊出没や不審者対策の為、訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		緊急連絡先の確認や、事業所用スマートフォンから連絡を取る事が出来るようにLINE登録をして頂いています。避難場所の周知を行っています。訓練後は、様子等についてお便り等で発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ひやりはつとや事故等が起きた場合には、早急に対策を検討し実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人で設置している委員会へ参加し、職員間で周知しています。定期的に人権擁護チェックを行ったり研修へ参加したりしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行う際には、委員会での検討や全体へ周知を行い、保護者へ説明、同意を得ています。支援計画にも記載し、都度支援の見直しを行いながら対応しています。	